

旭川市戦没者追悼式



※写真提供 旭川市

開催概要 (平成22年度)

歳時名：旭川市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：ロワジールホテル 旭川
 (JR旭川駅 徒歩15分)
 日時：平成22年8月30日(月) ※例年8月開催予定
 参列者数：150人
 連絡先：旭川市 福祉保険部 福祉保険課 0166-26-1111 (代表)

式次第 (平成22年度)

1. 開式の辞…旭川市福祉保険部長
2. 国歌斉唱
3. 式辞…旭川市長
4. 黙とう
5. 追悼の辞…北海道知事、旭川市議会議長、遺族代表
6. 献花…旭川市長ほか参列者全員
7. あいさつ…旭川市連合遺族会会長、旭川市長
8. 閉式の辞…旭川市福祉保険部長

式辞 (平成22年度)

本日ここに、戦没者御遺族並びに御来賓の皆様の御列席のもと、旭川市戦没者追悼式を挙げるに当たり、市を代表し式辞を申し述べます。

先の大戦が終わりを告げてから、六十五年という年月が過ぎ去りました。

多くの方々が、祖国の安泰を願い、家族を案じつつも厳しく激しい戦場に散り、戦禍に倒れ、あるいは、愛する家族を思いながらも再び郷土の地を踏むことなく遠い異国の地で亡くられました。

今ここに戦没者の方々の在りし日のお姿を忍びますとともに、衷心より御冥福をお祈り申し上げる次第であります。

私たちは今、当たり前のように享受している平和と繁栄、そして、水と緑にまつまれた自然豊かな郷土旭川のこの美しい姿が、戦争によって心ならずも命を落とされた方々の犠牲の上に築かれていることを、ひとときも忘れてはなりません。

改めて、戦没者の方々に敬意と感謝の誠を捧げるものであります。

私たちは、こうした方々の尊い犠牲を次の世代にしっかりと伝え、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、恒久平和の実現に努めていくことこそが、戦没者の方々に報いる途であると確信をいたしております。

本日この式典に当たり、先の大戦から学びとった多くの教訓を深く心に刻み、旭川の豊かな可能性を切り拓き、市民が安心して暮らせるまちづくりの実現に向け、全力を尽くしていくことを、今ここに誓い申し上げます。

終わりに、戦没者御遺族の皆様のお変わりのない深い苦しみ、悲しみに思いを致すとともに、皆様の末永い御平安を心からお祈り申し上げまして、式辞といたします。

平成二十二年八月三十日
 旭川市長 西川 将人

根室市戦没者追悼式



※写真提供 根室市

開催概要 (平成22年度)

歳時名：根室市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
会場：根室市総合文化会館
(JR根室駅 徒歩15分)

日時：平成22年8月15日(日) ※例年8月15日開催

参加者数：124人

連絡先：根室市 市民福祉部 社会福祉課 0153-23-6111 (代表)

式次第 (平成22年度)

1. 開 式
2. 黙 とう
3. 国 歌 斉 唱
4. 式 辞 … 根室市長
5. 追 悼 の 辞 … 北海道知事、北海道連合遺族会長、根室市議会議員
6. 電 報 披 露
7. 献 花 … 根室市長、国会議員、北海道知事、北海道議会議員、北海道連合遺族会長、根室市議会議員、根室市戦没者遺族会長、根室市戦災死没者遺族代表、来賓、参列遺族、市議会議員、一般参列者
8. 謝 辞 … 遺族代表
9. 閉 式

式 辞 (平成22年度)

本日ここに、根室市戦没者追悼式を挙げるにあたり、戦禍の犠牲となられた方々の御霊に、謹んで追悼の誠を捧げます。

先の大戦において、多くの尊い生命が失われ、本市においても、戦役者775名、空襲などによる戦災死亡者209名、並びに北方領土の島々において犠牲となられました多くの方々が国難に殉じ、国の内外において痛ましくも散華されましたことは、私たちにとって永久に忘れることのできない深い悲しみであります。

あの長く苦しい戦いの中で、祖国の安泰と家族の無事を願いながら戦禍に倒れられた方々、そのご遺族の皆様におかれましては、終戦から65年の歳月が過ぎようとしているいまでも、そのご苦勞を忘れることは出来ないものと存じます。

そのご心情を拝察するとき、悲痛な思いが今も胸に迫るのを禁じ得ません。

戦後、我が国は敗戦という混乱の中から立ち上がり、幾多の困難をのり越えて、今日の平和と繁栄を築きあげました。

わが根室市も先人のたゆまぬ努力により、今日まで北海道の東の拠点都市として、発展を遂げて参りました。

また、戦後一貫して返還を叫び続けております北方領土問題も、返還運動が始まってから65年を迎え、一日も早い領土返還の実現を目指すとともに、この北方領土返還の炎をいつまでも絶やすことなく、不断の努力を続けてまいり所存であります。

本日の戦没者追悼式にあたり、あの悲しい歴史を二度と繰り返すことのないよう、8月15日が平和の原点であることを改めて心に刻み、恒久平和への誓いを新たにいたしますとともに、ふるさと根室の再興と心豊かに暮らせる市民生活の実現を目指し、市民の皆様と共に力を合わせて取り組んでまいりますことをお誓い申し上げます。

最後に、戦没者英霊のご冥福と、ご遺族並びにご参列の皆様のご平安を心から祈念申し上げます。式辞といたします。

平成22年8月15日
根室市長 長谷川 俊輔

釧路 平和のモニュメント、戦災記念碑



基本情報

所 在：釧路市栄町平和公園
 住 所：北海道釧路市栄町6・7
 (JR釧路駅 徒歩10分)
 連絡先：釧路市 都市整備部 公園緑地課 0154-23-5151 (代表)
 建立者：釧路市 平和のモニュメント建立期成会
 建立年：平成7年8月15日

碑文

戦災記念碑

ここにあった
 悲しみを
 苦しみの日を
 永久に語りつがねば
 ならぬ

釧路市民戦災死没者慰霊式 並びに 平和祈念式



※写真提供 釧路市

開催概要 (平成22年度)

歳時名：釧路市民戦災死没者慰霊式 並びに 平和祈念式
 会場：釧路市栄町平和公園
 (JR釧路駅 徒歩10分)
 日時：平成22年8月15日(日) ※例年8月15日開催
 参列者数：約400人
 連絡先：釧路市平和都市推進委員会 0154-31-4590

式次第 (平成22年度)

1. 開 会
2. 黙 と う
3. 献 花
4. 式 辞 … 釧路市平和都市推進委員会委員長・釧路市長
5. 来賓挨拶 … 釧路市議会議長、釧路商工会議所会頭
6. 平和への願い
7. 平和のメロディー … 北海道釧路明輝高等学校吹奏楽部
8. 閉 会

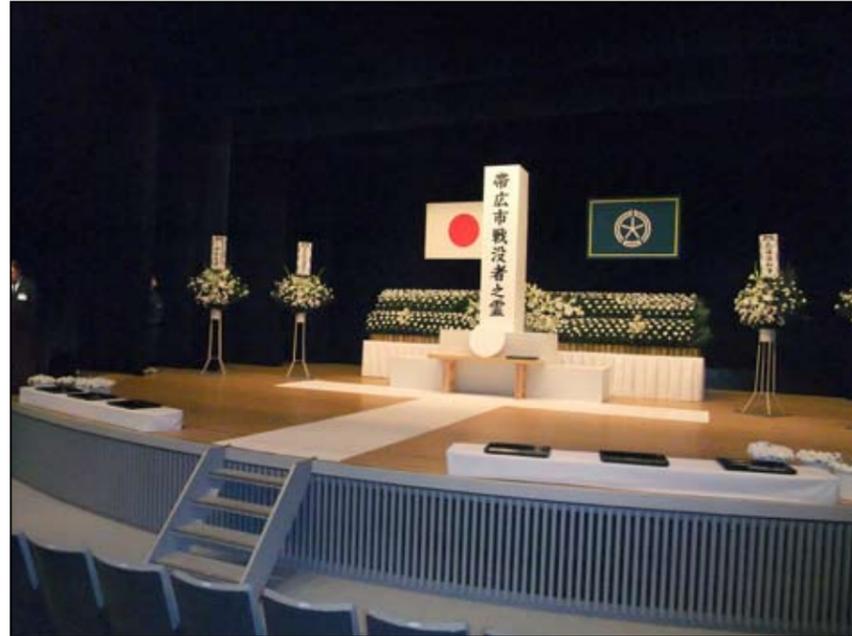
経緯

釧路市民戦災死没者慰霊式並びに平和祈念式の経緯

昭和20年7月14、15日の釧路空襲で192名の方々が犠牲となる大きな被害を受けたことから、昭和30年より、当時の「釧路市歓楽街振興会」が、栄町平和公園を会場に「釧路市戦災地復興祭」を挙行、釧路空襲による犠牲者の冥福を祈ってきた。

その後、釧路市が「核兵器廃絶平和都市」を宣言して以来、各種の啓発活動を実施してきた「核兵器廃絶平和都市宣言実行委員会」を中心に、「釧路市戦後50年平和事業実行委員会」「釧路市平和のモニュメント建立期成会」の恒久平和を願う3つの団体が、平成8年5月に発展的に改組した「釧路市平和都市推進委員会」により、毎年8月15日に「釧路市民戦災死没者慰霊式並びに平和祈念式」を開催している。

帯広市戦没者追悼式



※写真提供 帯広市

開催概要（平成22年度）

歳時名：帯広市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：帯広市民文化ホール
 （JR帯広駅 徒歩5分）
 日時：平成22年9月21日（火） ※例年9月21日開催
 参列者数：220人
 連絡先：帯広市 保健福祉部 社会課 0155-24-4111（代表）

式次第（平成22年度）

1. 開 式
1. 国歌斉唱
1. 黙とう
1. 花輪奉呈
1. 式辞
1. 追悼の辞
1. 式電拝読
1. 献花
1. 平和の誓い
1. 挨拶
1. 閉 式

式 辞（平成22年度）

本日ここに、戦没者のご遺族並びにご来賓の皆様のご参列を得て、平成二十二年度帯広市戦没者追悼式を執り行うにあたり、戦没者並びに戦災物故者の御霊に対し、謹んで追悼のことばを捧げます。

顧みますと、六十五年前の昭和二十年七月、帯広市は空襲を受け、多くの市民が被災しました。

それから一ヶ月後、熾烈を極めた先の大戦は、八月十五日、終戦を迎えたのであります。

長く苦しい戦いの中で、祖国の安泰を願い、家族の無事を案じながら、国内外で戦禍に倒れた方々、また戦後、遠い異郷の地で無念にも最期を遂げられ、帯広への帰還がかなわず、亡くなられた方々の無念に思いを馳せ、ご遺族の深い悲しみを拝察するとき、痛恨の情、胸に迫るものであります。

戦没者の方々のご冥福を、心からお祈りいたします。

また、最愛の肉親を失われましたご遺族の皆様が、悲しみに耐え、多くの苦難に立ち向かいながら、家族を守り、平和な社会の実現にご尽力されてこられましたことに、心より敬意を表するものであります。

戦後、わが国は、幾多の困難を乗り越えて、平和と繁栄を真摯に希求し、勤勉な国民性をもって、世界でも類をみない経済発展と平和国家を築き上げました。

また、郷土帯広市は、恵まれた自然環境のもと、多くの人々のたゆまぬ努力により、十勝の中核都市として目覚ましい発展を遂げてまいりました。

この平和で豊かな今日の社会の礎として、戦没者の方々の尊い犠牲があったことを、決して忘れることなく、今後とも郷土を守り育て、誰もが安心して生活できる地域社会づくりの一層の推進を図り、市民の英知を結集し、夢と誇りのもてるまちを築いてまいります。

今日、世界に目を転じますと、テロや武力による争いが後を絶たず、また貧困と格差や地球温暖化問題など、解決しなければならない喫緊の課題が山積しておりますが、平和で安心して生活できる社会は、人類共通の願いであります。

国民の大半が戦争の悲劇を知らずに育った世代である今、改めて先の大戦で学んだ多くの教訓を、心に刻み、平和の大切さや戦争の悲惨さを、次の世代にもしっかりと語り継ぐことが、私たちの責務であり、恒久平和の確立に全力を尽くしてまいりますことを、ここに固くお誓いいたします。

終わりに、戦没された方々が安らかなることと、ご遺族並びにご参列の皆様方の御多幸と御健勝を心から祈念申し上げまして、式辞といたします。

平成二十二年九月二十一日
 帯広市長 米沢 則寿

帯広空襲の碑



※写真提供 帯広市

基本情報

所 在：帯広市総合体育館前庭
 住 所：北海道帯広市大通北1
 (JR帯広駅 徒歩20分)
 連 絡 先：帯広市生涯学習部 0155-24-4111 (代表)
 建 立 者：帯広空襲を語る会
 建 立 年：昭和60年8月11日

碑 文

【表】

帯広空襲の碑

帯広空襲を語る会

昭和60年8月11日

【裏】

この付近一帯は昭和20年7月15日

午後3時 アメリカ軍の空襲にあい、死者5名
家屋の損壊59戸の被害を受けた。

帯広市教育委員会

※帯広市の後の調査により最低でも122戸の被害が判明した。
(平成22年現在)

室蘭 艦砲射撃慰霊碑



基本情報

所 在：中島本町公園内
 住 所：北海道室蘭市中島本町2-8
 (JR東室蘭駅 徒歩17分)
 連絡先：個人であり記載せず
 建立者：中島社宅民和会
 建立年：昭和34年3月21日

碑 文

慰霊碑

第二次世界大戦も終局に近い昭和二十年七月十四日十五日の両日にわたる艦砲射撃のために中島社宅在住の人達百九十二名の尊い人命が失われた
 当会では終戦後毎年この人々の冥福を祈ると共にこのような過ちを再び繰り返さないために慰霊祭をおこなって来たがこの度この碑を建立し犠牲者冥福を祈るものである

昭和三十四年三月二十一日 中島社宅民和会

室蘭艦砲射撃追悼慰霊祭



※写真提供 室蘭民報社

開催概要 (平成22年度)

歳 時 名：室蘭艦砲射撃追悼慰霊祭
 会 場：中島本町公園内
 (JR東室蘭駅 徒歩17分)
 日 時：平成22年7月15日(木) ※例年7月15日開催
 参列者数：約30人
 連絡先：中島民和会事務所 0143-45-7517

式次第 (平成22年度)

1. 開催の辞
2. 黙祷
3. 読経
4. ご焼香
5. 追悼のことば及び主催者代表挨拶
6. 閉会の辞

式 辞 (平成22年度)

太平洋戦争終結を一月後に控えた昭和二十年七月十四日から十五日にかけてのアメリカ軍の空襲・艦砲射撃により、当時二千戸を抱える中島社宅の住民、配給所の家族・職員を含む百九十二名が犠牲になる事態に見舞われました。

恐怖と地獄のような惨劇を目の当たりにして、昭和二十三年九月に発足した民和会が中心となり慰霊を行う中、昭和三十四年三月二日にこの地に慰霊碑を建立し、戦火の中で逃げ惑い砲弾の直撃や防空壕で一瞬にして先を断たれて黄泉の国へと旅立った住民の方の冥福を、お祈りしてまいりました。

戦後六十五年、またこの慰霊碑前での追悼も半世紀をこえて、昨今は五十回と言う節目を過ぎてまいりました。

争いのない、平和な街づくりを誓い、平和と地域との共存共栄を旗印に、過去のつらく重い記憶を、風化させること無く、次の世代へ引き継いでゆくことが、中島地区で犠牲になられた方々の、そして慰霊碑を建立し、後世に平和の尊さ、大切さを、訴え続けてこられた諸先輩のご労苦に報いる道であると念じております。

本日、ご参列いただいたみなさまとともに、心からの焼香を手向けると共に、ご冥福と永久の平安をお祈りし、追悼のことばといたします。

平成22年7月15日
 民和会会長 小林 聖二

室蘭市戦没者並びに艦砲射撃殉難者追悼式



開催概要（平成22年度）

歳時名：室蘭市戦没者並びに艦砲射撃殉難者追悼式
 会場：室蘭市文化センター
 （JR室蘭駅 徒歩6分）
 日時：平成22年8月27日（金） ※例年8月下旬開催
 参列者数：213人
 連絡先：室蘭市 保健福祉部 介護福祉課 0143-22-1111（代表）

式次第（平成22年度）

1. 開式の辞…保健福祉部長
2. 国歌斉唱
3. 黙 禱
4. 平和都市宣言
朗 読
5. 式 辞…室蘭市長
6. 追悼のことば…北海道知事、室蘭市議会議長、室蘭遺族会会長
7. 献 花…室蘭市長、北海道知事、室蘭市議会議長、室蘭遺族会会長、来賓、
参列者全員
8. 閉式の辞…保健福祉部長

式 辞（平成22年度）

多くの尊い命が失われた 先の大戦から すでに 六十五年の歳月が過ぎました
 苦難に満ちた往時を思い浮かべ ここに ご遺族並びに来賓各位のご参列をいただき室
 蘭市戦没者並びに艦砲射撃殉難者追悼式を 挙行できますことは 誠に意義深いものがあ
 り謹んで哀悼の意を捧げます
 あの長く苦しい戦いの中で わが国の将来や家族の行く末を案じながら 戦火に倒れあ
 るいは遠い異郷の地で亡くなられた 数多くの戦没者の方々 並びに本市においては終戦
 間近の あの悪夢のような艦砲射撃により 心ならずも 命を亡くされた殉難者の方々を
 思うとき 今もなお 尽きることのない悲しみが胸に込み上げてまいります
 また 最愛の肉親や一家の柱を失い 癒されることのない悲しみを胸に秘めて 幾多の
 困難を乗り越え 立派にご家族を養育されてこられた ご遺族の皆様のご労苦に対し 衷
 心より 敬意を表する次第であります
 今日の平和と繁栄は先の大戦により亡くなられた方々の 尊い犠牲と努力の上に築かれ
 ています
 わが郷土室蘭も 市民のたゆまぬ努力により 輝かしい発展を遂げてまいりましたがこ
 の伝統と資産を受け継ぎ 港とともに歩む「ものづくりのまち」の発展に全力を尽くすと
 ともに「市民が安心できるまちづくり」を進めていく所存であります
 私たちは 改めて御霊の尊い犠牲を教訓として 二度と悲惨な戦争を繰り返さないこと
 を 次の世代に継承する責任があります
 世界では いまだ地域紛争やテロが続いており 胸が痛む出来事が後を絶ちません
 「平和都市宣言」を行っている本市といたしましては 今後とも 市民とともに恒久の平和
 を切に願い 一層の努力を重ねていくことを固く誓うものであります
 終わりに 尊い命を捧げられました 多くの御霊に対し 永久に安らかならんことをお
 祈り申し上げますとともに ご遺族並びに ご参列の皆様のご健勝とご多幸を 心から祈
 念し 式辞といたします

平成二十二年八月二十七日
 室蘭市長 新宮 正志

室蘭 空襲、艦砲射撃被害者四三六柱の慰霊碑



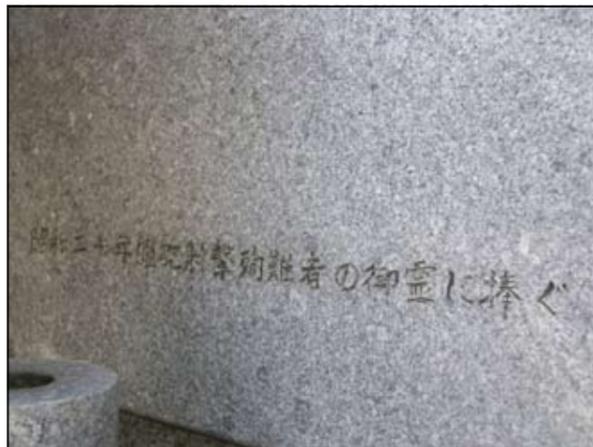
基本情報

所 在：室蘭八幡宮
 住 所：北海道室蘭市海岸町2-9-3
 (JR室蘭駅 徒歩10分)
 連絡先：室蘭八幡宮 0143-22-2428
 建 立 者：室蘭市
 建 立 年：昭和25年7月15日

碑 文

慰霊碑

昭和二十年艦砲射撃殉難者の御霊に捧ぐ



室蘭 艦砲射撃殉難者慰霊碑、慰霊之塔



基本情報

所 在：御崎神社
 住 所：北海道室蘭市御崎町2
 (JR御崎駅 徒歩10分)
 連絡先：不明
 建 立 者：御崎町会
 建 立 年：昭和41年7月14日

碑 文

一心欲見佛

慰霊碑

説 明 文

此の慰霊碑は昭和二十年七月十四十五日の艦砲射撃や空襲によって死歿された方々を御慰めするため建立し毎年七月御崎神社祭典と同時に慰霊祭を行っております

昭和四十一年七月十四日
 御崎町会

伊達 空襲犠牲者慰霊碑



※写真提供 ©JRCS



※写真提供 ©JRCS

基本情報

所 在：伊達赤十字病院
 住 所：北海道伊達市末永町81
 (JR伊達紋別駅 徒歩20分)
 連絡先：伊達赤十字病院 / 伊達赤十字看護専門学校同窓会 0142-23-2211
 建 立 者：伊達赤十字病院 / 伊達赤十字看護専門学校同窓会
 建 立 年：平成7年8月31日

碑 文

空襲犠牲者慰霊碑

昭和二十年七月十四日伊達赤十字病院に対するグラマン戦闘機による小型爆弾投下のため四名の尊い生命が犠牲となり八名の負傷者を数えた。

ここに、戦後五十年をむかえ、これらの死者の御魂を慰霊し碑を建立する。

病院空襲犠牲者

(氏名略)

平成七年八月三十一日
 総合病院 伊達赤十字病院
 伊達赤十字看護専門学校同窓会

伊達空襲犠牲者慰霊祭



※写真提供 ©JRCS



※写真提供 ©JRCS

開催概要 (平成22年度)

歳 時 名：伊達空襲犠牲者慰霊祭
 会 場：伊達赤十字病院・空襲犠牲者慰霊碑前
 (JR伊達紋別駅 徒歩20分)
 日 時：平成22年7月14日(水) ※例年7月14日開催
 参列者数：40人
 連絡先：伊達赤十字病院 / 伊達赤十字看護専門学校同窓会 0142-23-2211

式次第 (平成22年度)

1. 開 式 の 辞
2. 黙 禱
3. 献 花… 来賓、病院挨拶
4. 院 長 挨拶
5. 閉 会 の 辞

函館市戦没者追悼式



※写真提供 函館市

開催概要（平成22年度）

歳時名：函館市戦没者追悼式 ※一般戦災死没者を含む
 会場：函館市総合福祉センター
 （JR函館駅 徒歩8分）
 日時：平成22年8月18日（水） ※例年8月中旬～下旬頃開催
 参列者数：216人
 連絡先：函館市福祉部社会課 0138-21-3111（代表）

式次第（平成22年度）

1. 開 式
2. 国歌斉唱
3. 式 辞 … 函館市長
4. 黙 禱
5. 追 悼 の 辞 … 北海道知事、函館市議会議長、函館市遺族代表
6. 献 吟
7. 献 花 … 函館市長、北海道知事、函館市議会議長、国會議員、北海道議會議員、
函館市議會議員、遺族、官公署代表、各団体代表、一般参列者、函館
市連合遺族会会長
8. 挨拶 … 函館市連合遺族会会長
9. 閉 式

式 辞（平成22年度）

本日ここに、函館市戦没者追悼式を、戦没者遺族および各界の代表者の皆様のご参列をいただき、挙行いたしますことは誠に意義深く、戦没者ならびに戦争による犠牲者に対し、謹んで追悼の誠を捧げます。

先の大戦が終わりを告げてから今日まで、六十五年の歳月が過ぎ去りました。

熾烈を極めたあの戦いの中で、祖国の安泰を願い、家族を案じつつ、戦場に散り、また、悲しくも空襲の戦禍に倒れ、さらには、遠い異郷の地で亡くなられた多くの戦没者の方々のご心情、身に余るものがあり、ここに心からご冥福をお祈りいたします。

私たち日本国民にとって先の大戦は、永遠に忘れることのできない出来事であり、残されたご遺族のお気持ちを思うと今なお、深い悲しみが胸にせまります。

戦後我が国は、たゆまぬ努力により、焦土の中から立ち上がり目覚ましい発展を遂げてまいりました。

そのなかにあつて、最愛の肉親を亡くされたご遺族の皆様は、互いに助け合い、さまざまな苦難を乗り越えて、立派に子弟を養育し、家業に精励してこられましたそのご努力に対し、心から敬意を表する次第であります。

昨今、国内では、平和で豊かな生活を享受できるようになり、この平和で豊かな今日においてこそ、過去を振り返り、戦没者の方々の尊い犠牲を次の世代に語り継ぐとともに、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう、恒久平和を確立することが、我々に課せられた責務であると存じます。

そして、このことこそが、犠牲となられた方々の御霊を鎮めることとなるものと思います。本市といたしましては、先の大戦から学びとった多くの教訓を深く心に刻み、明るく住みよい幸せな暮らしの実現を願い、核兵器廃絶平和都市宣言を行っているものであります。

本年も、長崎市の平和祈念式典には、中学生を平和大使として派遣したほか、広島市から被爆体験者を招き、ちかく講演会を開催することとしております。

私たちは、再び悲しみの歴史を繰り返さない決意を新たにし、平和を誓い、それぞれの分野においてより一層の努力をいたすことによって、諸霊をお慰めせねばならないと信じます。

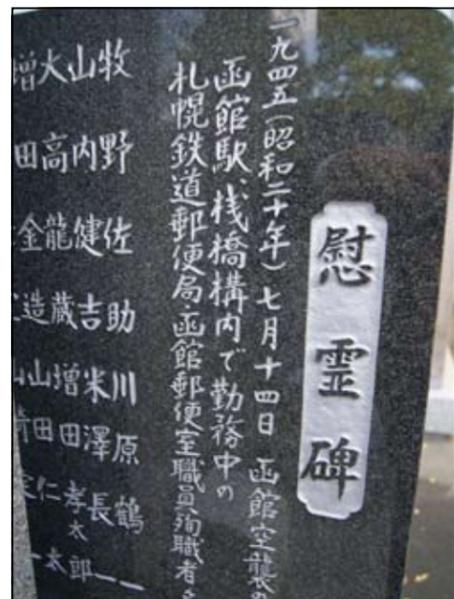
結びにあたり、戦没者ご遺族の皆様とご列席の皆様のご多幸とご健勝をご祈念申しあげまして、私の式辞といたします。

平成二十二年八月十八日 函館市長 西尾 正範

第二次世界大戦 函館空襲戦災跡地 戦災者慰霊碑 ほか



戦災者慰霊碑(中)、同碑の英語版慰霊碑(右) 米軍犠牲者の慰霊碑(左)



札幌鉄道郵便局・函館郵便室職員殉職者慰霊碑



基本情報

所 在：称名寺
住 所：北海道函館市船見町18-14
(函館市電 函館どつく前駅 徒歩7分)
連 絡 先：称名寺 0138-23-0574
建 立 者：函館空襲を記録する会
建 立 年：第二次世界大戦 函館空襲戦災跡地 戦災者慰霊碑 平成元年7月14日
札幌鉄道郵便局・函館郵便室職員殉職者慰霊碑 平成13年9月23日

碑 文

【表】

第二次世界大戦 函館空襲戦災跡地 戦災者慰霊碑

第2次世界大戦末期昭和20年(1945)7月14・15の両日アメリカ艦隊機動部隊の戦闘爆撃機グラマン・コルセア50余機により主要攻撃目標であった函館港内や津軽海峡航行中の船舶は爆撃を受けて85隻が沈没や破壊され多数の犠牲者が出ました。市内では駒止町天神町旅籠町船見町鍛冶町松風町若松町大森町海岸町等の民家が空襲を受け家屋169棟戸数384戸余を焼失。破壊家屋も多数にのぼり、多くの死傷者を出しました。特に駒止町天神町旅籠町船見町鍛冶町地区は函館空襲最大の戦災地で老人と子ども等23人が爆弾や機銃掃射を浴びて犠牲者となり、また多数の負傷者を出し384戸が全半焼しました。この戦争・空襲による悲惨な歴史的事実を想起して函館における空襲犠牲者の霊を慰め、軍縮を希求し、平和を守り抜く誓いを堅持いたしたく、有志者一同が称名寺住職須藤隆仙師の御高配を頂いて、戦災跡地を見下ろすこの境内に記念碑を建立しました。

【裏】

この碑は日本国憲法第九条「日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。」条文を遵守し 真の平和を願う536名の浄財によって建立されました。

戦災者氏名 西部地区方面

(氏名略)

戦災者の証言により記載しました
平成元年(一九八九)七月十四日
第二次世界大戦 函館空襲を記録する会

慰霊碑

一九四五(昭和二十年)七月十四日 函館空襲の際函館駅、棧橋構内で勤務中の札幌鉄道郵便局・函館郵便室職員殉職者名

(氏名略)

二〇〇一(平成十三年)九月二十三日
函館空襲を記録する会 建立